

Information

DNP シンポジウム 2026

日時▶ [現地開催 + LIVE 配信] 8月28日(金)13:30~16:30

会場▶ 国際医療福祉大学東京赤坂キャンパス (東京都港区)

テーマ▶ DNP コースで目指す人物像

プログラム▶ シンポジウム [前半] 北里大学, 国際医療福祉大学, 亀田医療大学 / [後半] 聖路加国際大学, 愛知医科大学, 大分県立看護科学大学 / 質疑応答

参加申込期間▶ ~8月28日(金)10:00

参加申し込み方法▶ 下記 URL より

<https://business.form-mailer.jp/fms/f13d6140353548>

問い合わせ先▶ 国際医療福祉大学大学院シンポジウム事務局 担当: 横山, 佐久間

☎ 03-5574-3900 (平日 9:00~17:30)

✉ e-tokyo@iuhw.ac.jp

<https://www.iuhw.ac.jp/daigakuin/news/event/2607291502.html>

第28回 日本褥瘡学会学術集会

日時▶ 9月4日(金)~5日(土)*後日オンデマンド配信予定

会場▶ なら 100 年会館, ホテル日航奈良, 奈良県コンベンションセンター (奈良県奈良市)

テーマ▶ 皆で取り組む褥瘡医療—変わるケアと変わらないケア

プログラム▶ 会長講演「ET/皮膚・排泄ケア認定看護師としての35年の節目を迎えるにあたって—出会いに支えられた歩み」石澤美保子 (奈良県立医科大学) / 特別講演①「三つ子の魂百までは本当か?—子育て中や後輩を育成している方に役立つ人間発達の理解」飯田順三 (万葉クリニック子どものこころセンター絆) / ②「老化の分子基盤から考える加齢関連疾患の予防と治療—細胞老化・ミトコンドリア・細胞外小胞が切り拓く新戦略」尾池雄一 (熊本大学大学院) / ③「執尊の主治医ジューヴァカの活躍—奈良時代の医療福祉行政に繋がる流

れ」狭川普文 (東大寺長老・東大寺上院院主) / 会長企画講演「Well-beingを目指す」真田弘美 (石川県立看護大学) / 特別教育講演①「睡眠と健康の深い関係について—褥瘡患者のみならず, あなたの睡眠も考えてみよう!」山内基雄 (奈良県立医科大学, 奈良県立医科大学附属病院) / ②「外科ナース・WOC ナースが知っておくべき直腸癌仙骨合併切除術後の難治性創感染とその対策」小山文一 (奈良県立医科大学) / ③「皆で取り組む褥瘡医療—感染症専門医の視点から」笠原敬 (奈良県立医科大学) / 理事長講演「患者中心の褥瘡予防・管理をどう実現するか—現体制が挑む5つの課題」須釜淳子 (日本褥瘡学会, 藤田医科大学) / 教育講演①「知っておきたい創傷被覆材アップデート」藤井美樹 (東京医科大学), 安藤嘉子 (大阪赤十字病院) / ②「日常生活援助と褥瘡予防—その人らしい暮らしを支えるケア」佐藤文 (川崎市立看護大学) / ③「『DESIGN-R2020』ってむずかしい?」柳井幸恵 (綜合病院山口赤十字病院) / ④「NPIAP/EPUAP/PPPIA 褥瘡と治療ガイドライン 2025 の褥瘡予防のための栄養管理への活用」芳野憲司 (園田学園大学) / ⑤「スキンケア」帯刀朋代 (東京医科大学病院) / ⑥「褥瘡ケアに活かす臥位のポジショニング」永吉恭子 (Be active 株式会社えんたす福祉用具事業所) / ⑦「足の褥瘡」大浦紀彦 (杏林大学), 安西美恵 (森之宮病院) / ⑧「褥瘡治療における外用薬」関根祐介 (東京医科大学病院), 古田勝経 (小林記念病院) / ⑨「創傷感染マネジメントに基づく褥瘡治療戦略」前川武雄 (自治医科大学附属さいたま医療センター) / ⑩「皮膚科の視点で考える褥瘡治療」正島千夏 (奈良県立医科大学), 栗本徹 (奈良県総合医療センター) / ほか

参加申込期間▶ ~10月23日(金)23:45

参加費▶ 正会員・施設会員 1万1000円, 賛助会員 1万2000円, 非会員 1万4000円, 介護職 5000円, 学生・大学院生・社会人学生 3000円

*学生・大学院生・社会人学生は参加登録の際に学生証の画像アップロード要

*介護職は介護福祉士, ヘルパー, ケアワーカー, ケアマネージャーなどとする

参加申し込み方法▶ 下記 URL より

<https://shun-convention.jp/jspu28/registration.html>

問い合わせ先▶ 運営事務局

〒169-0072 東京都新宿区大久保 2-4-12 新宿ラムダックスビル 株式会社春恒社コンベンション事業部内

☎ 03-3204-0401

✉ jspu28@shunkosha.com

<https://shun-convention.jp/jspu28/>

第13回超スマート社会推進 フォーラム (ハイブリット形式)

日時▶ [現地・オンライン] 9月18日(金)12:30~17:00

会場▶ 東京科学大学湯島キャンパス M&D タワー2F 鈴木章夫記念講堂 (東京都文京区)

テーマ▶ 「スマートナーシングケア」の社会実装—Beyond the Clinical 2026

プログラム▶ Session ① (Vision) 「『スマートナーシングケアの未来を語る』—世界をどう変えていくかの, 多様な視点からの基調講演」橋本亜希子 (厚生労働省医政局看護課看護サービス推進室), 佐藤大輔 (経済産業省商務・サービスグループヘルスケア産業課), 森臨太郎 (兵庫県宝塚市長) / ② (Practice) 「『現場と技術の最前線』—2026年ここまで来ている: 現場の課題, 最新技術の紹介」藤澤克樹 (東京科学大学総合研究院), 井桁洋子 (東京科学大学病院), Jeung-Im Kim (順天郷大学校), Ingrid Sutherland (メルボルン大学, ロイヤル・チルドレンズ病院) / ③ Proposal 「『現場からの構想提案』—看護・医療の専門家が, 現場の課題をもとに構想を掲示」福井小紀子 (東京科学大学保健衛生学研究科), 有馬継士郎 (味の素株式会社食品事業本部食品研究所), 澤田樹里 (東京科学大学保健衛生学研究科), 谷口麻希 (東京科学大学保健衛生学研究科), 福地命 (日本電気株式会社), 高瀬憲児 (日本電気株式会社), 松崎政代 (東京科学大学保健衛生学研究科), 人見綾 (東京科学大学保健衛生学研究科) / ④ Action 「『ともに動く仲間を見つける』—構想をもとに, オープ

ンな対話の場で社会実装をめざす」

参加費▶無料

問い合わせ先▶超スマート社会推進コンソーシアム事務局

✉ inquiry@sss.e.titech.ac.jp

<https://www.sss.e.titech.ac.jp/event/sss-promotion-forum13-20260918/>

第 31 回日本糖尿病教育・看護学会学術集会

日時▶9月26日(土)~27日(日)*後日オンラインデマンド配信

会場▶大阪国際会議場(大阪市)

テーマ▶原点回帰—Let's do our best!

プログラム▶会長講演「糖尿病教育・看護の原点を見つめ直す」瀬戸奈津子(関西医科大学)／特別講演①「医療現場の行動経済学—すれ違いの解消法」大竹文雄(大阪大学感染症総合教育研究拠点)／②「〈いのち〉をケアする医療—患者と医療者の新しい関係のあり方」加藤真三(MOA高輪クリニック)／③「地域社会に求められるプロフェッショナリズム」宮田靖志(愛知医科大学)／④「身体抑制をしないことは患者の回復力促進に向けた看護実践を探索し創出する力を高める」小藤幹恵(石川県看護協会前会長)／教育講演①「地域包括ケアシステムにおける医療DXの活用可能性」村上敬亮(東京大学公共政策大学院)／②「誰もがAIと話す時代におけるヒトとテクノロジーをつなぐ言葉」佐野大樹(Google DeepMind)／③「看護における日常倫理(everyday ethics)を問い直す」鶴若麻理(聖路加国際大学)／④「糖尿病看護から広がる地域と未来」中山法子(糖尿病ケアサポートオフィス)／⑤「薬が飲めなかった理由は、テロだった—“当たり前”が通じないアフリカで考えたこと」桐木園子(日本医科大学付属病院)／⑥「災害時糖尿病医療支援チームDiaMAT」細井雅之(大阪市立総合医療センター)／ほか

参加申込期間▶~2027年1月18日(月)12:00

参加費▶会員9000円、非会員1万2000円、学生4000円

*学生は専修学校、高等学校、高等専門学校、短期大学、大学、大学院、認定看護師教育課程に在籍中の場合。登録時に学生証の写し(画像ファイル)をアップロード要

校、短期大学、大学、大学院、認定看護師教育課程に在籍中の場合。登録時に学生証の写し(画像ファイル)をアップロード要

参加申し込み方法▶下記 URL より

<https://square.umin.ac.jp/jaden31st/registration.html>

問い合わせ先▶運営事務局

〒531-0072 大阪府大阪市北区豊崎3-20-1 インターグループビル 株式会社インターグループ内

☎ 06-6372-9345 (平日10:00~17:00)

✉ jaden31@intergroup.co.jp

<https://square.umin.ac.jp/jaden31st/index.html>

第 19 回看護実践学会学術集会

日時▶10月3日(土)

会場▶七尾市文化ホール、矢田郷地区コミュニティセンター(石川県七尾市)

テーマ▶人とのつながりが紡ぐゆるぎない看護の軌跡、そして未来へ

プログラム▶会長講演「人とのつながりが紡ぐゆるぎない看護の軌跡、そして未来へ」澤味小百合(公立能登総合病院)／特別講演「人とテクノロジーが紡ぐ看護の未来」岡田みずほ(岩手県立看護大学)／シンポジウム「看護の継承が未来を拓く—一次世代が描く看護」【講師】崔賀英(メディカルギーク株式会社)、【演者】富澤一花(石川県立田鶴浜高等学校生徒)、鍛冶谷咲良(公立小松大学学生)、坂本妃菜(浅ノ川総合病院)、松平美希(心臓血管センター金沢循環器病院)／ほか

参加申込期間▶~10月3日(土)15:00

参加費▶会員3000円、非会員5000円、学生1000円

*学生は保健師・助産師・看護師および准看護師の免許を未取得の看護学生を指す。ただし、看護師養成所(2年課程)に在学中の場合は学生料金を適用

参加申し込み方法▶下記 URL より

<https://19jissen.com/registration/>

問い合わせ先▶事務局

〒926-0816 石川県七尾市藤橋町ア部6

番地4 公立能登総合病院看護部(運営サポート係)

<https://19jissen.com/>

日本エンドオブライフケア学会第9回学術集会

日時▶[現地]10月3日(土)~4日(日)、[オンデマンド配信]10月15日(木)~11月30日(月)

会場▶つくば国際会議場(茨城県つくば市)

テーマ▶「いのち」をつなぐ営み—エンドオブライフケアの本質を探索

プログラム▶大会長講演「エンドオブライフケアにおける『言葉』と『コトバ』」足立智孝(亀田医療大学)／特別講演①「ACPにおける倫理的な対話」会田薫子／②「ケアとしてのオープンダイアログ」齋藤環／③「認知症の人との共同意思決定」繁田雅弘／教育講演①「ホスピス緩和ケアのエッセンス—過去・現在そして未来」志真康夫／②「EOLCケア研究法について—研究をどうすすめていくか」宮下光令／③「カトリック司祭・修道者の終末期を見つめて」山岡三治／④「人を動かすナラティブ」大治朋子／ほか

参加申込期間▶[事前]~9月15日(火)、以降、通常登録

参加費▶[事前]会員9000円、非会員1万円、学生(大学院生除く)2000円、[通常]会員1万1000円、非会員1万2000円、学生(大学院生除く)2000円

*学生は仕事をしていない場合に限る。登録時に学生証の画像添付要

参加申し込み方法▶下記 URL より

<https://pub.conf.it.atlas.jp/ja/event/eolc2026/content/registration>

問い合わせ先▶運営事務局

〒116-0011 東京都荒川区西尾久7-12-16-3F 株式会社ソウブン・ドットコム内

✉ eolc2026@soubun.biz

<https://pub.conf.it.atlas.jp/ja/event/eolc2026>

日本災害看護学会 第28回年次大会

日時▶ [現地] 10月3日(土)～4日(日),
[オンデマンド配信] 10月19日(月)～11
月19日(木)

会場▶ あきた芸術劇場ミルハス, 秋田市文
化創造館 (秋田県秋田市)

テーマ▶ 「生きるを支える」ネットワーク
と地域力の醸成

プログラム▶ 大会長講演『「生きるを支える」
ネットワークと地域力の醸成』佐々木
久美子 (日本赤十字東北看護大学) / 特別
講演①『「人間らしく生きる」とは何か—
災害が映し出す“尊厳”と“ともに生きる
こと”の意味』ホアン・アイダル (上智大
学) / ②「災害関連死の連鎖を断ち切る—
人間・暮らし・地域を一体化した支援の再
構築」酒井明子 (福井大学) / 教育講演①
「市民と学生が学び合う災害シチズンサイ
エンス教育プログラム—災害につよい人と
まちの地域力の醸成」石橋みゆき (千葉大
学) / ②「大規模災害を見据えた地域力を
高める取り組み—潜在看護職者の力を地域
の防災・減災に生かす10年間の取り組み」
新美綾子 (日本福祉大学) / ③「災害
後の生活を支える住環境ケア—水害後のカ
ビ被害と健康リスクから考える (仮)」長
谷川兼一 (秋田県立大学) / ほか

参加申込期間▶ ～11月19日(木)

参加費▶ 会員1万1000円, 非会員1万
3000円, 学生会員2000円, 学生非会員
2200円

* 学生は登録時に学生証の画像アップロー
ド要

参加申し込み方法▶ 下記 URL より

[https://www.tohoku-kyoritz.jp/jsdn28/
registration/index.html](https://www.tohoku-kyoritz.jp/jsdn28/registration/index.html)

問い合わせ先▶ 運営事務局

〒982-0001 宮城県仙台市太白区八本松
2-10-11 株式会社東北共立

☎ 022-246-2591

✉ jsdn28@tohoku-kyoritz.co.jp

<https://www.tohoku-kyoritz.jp/jsdn28/>

第8回セル看護推進研究会

日時▶ 10月16日(金)～17日(土)

会場▶ のがみプレジデントホテル4階 (福
岡県飯塚市)

テーマ▶ セル看護提供方式® のさらなる価
値の創造—補完の進化 パート2

プログラム▶ 基調講演「セル看護提供方
式® のさらなる価値の創造—補完の進化
パート2」須藤久美子 (セル看護推進研究
会) / 特別講演「私とセル看護—医師とし
ての観点から」田中二郎 (飯塚病院) / シ
ンポジウム / ほか

参加申込期間▶ ～9月30日(水)

参加費▶ 5000円

参加申込方法▶ 下記 Web サイトより

<https://aih-kangobu.com/dai8sanka/>

問い合わせ先▶ 飯塚病院看護部セル看護推
進研究会事務局

〒820-8505 福岡県飯塚市芳雄町 3-83

☎ 0948-22-3800

✉ aihkango@aih-net.com

<https://aih-kangobu.com/tameshidai8/>

第28回看護国際フォーラム

日時▶ 10月24日(土)13:00～16:20

形式▶ Zoom 開催

テーマ▶ 看護職のウェルビーイングを支え
る—モラルディストレスを超えて、個人と
組織が調和する未来へ

プログラム▶ 講演①「看護職のモラルディ
ストレスと向き合い、ウェルビーイングを
考える」奥裕美 (聖路加国際大学大学院)
/ ②「看護職のウェルビーイング向上を支
える—持続可能な職場環境の構築」吉住房
美 (大分岡病院) / 録画講演「セルフケア
から組織改革へ—個人のウェルビーイング
と組織戦略をつなぐ」Amy Witkoski
Stimpfel (ピラノバ大学) / 総合討論 奥
裕美 (聖路加国際大学大学院), 吉住房美
(大分岡病院)

参加申込期間▶ ～10月16日(金)

参加費▶ 無料

参加申し込み方法▶ 下記 URL より

<https://forms.gle/esfXbvfp3KnxHeRq9>

問い合わせ先▶ 〒870-1201 大分県大分
市大字廻栖野 2944-9 大分県立看護科学
大学看護国際フォーラム担当

☎ 097-586-4300

✉ forum2026@oita-nhs.ac.jp

[https://www.oita-nhs.ac.jp/site/general
public/28th-forum.html#gsc.tab=0](https://www.oita-nhs.ac.jp/site/generalpublic/28th-forum.html#gsc.tab=0)

* 掲載している情報は8月1日時点のもの
です。最新の情報は主催元をご確認くだ
さい。